

出水期を迎えるにあたり、災害発生時に備え平時より住民への周知等が重要であることを再認識し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とした「木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会」を開催しました。

情報交換・意見交換では、木津川上流部での令和6年度の取組報告や今後の取組について意見交換を行いました。また、構成機関である気象台から、防災気象情報の体系整理と最適な活用について情報提供がありました。



【日時】：令和7年5月26日（月）16：10～17：00

【場所】：名張産業振興センター・アスパア

【参加者】：伊賀市長、名張市長、津市長（代理）、笠置町長、
南山城村長、宇陀市長、山添村長、曾爾村長、御杖村長、
伊賀建設事務所長、伊賀地域防災総合事務所、
津建設事務所長、津地域防災総合事務所長（代理）、
山城南土木事務所長、奈良土木事務所長（代理）、
宇陀土木事務所長、木津川ダム総合管理所長、
津地方気象台長、奈良地方気象台長、
淀川ダム統合管理事務所長、紀伊山系砂防事務所長、
木津川上流河川事務所長

【議事次第】

○審議

- 1) 木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会規約、規程の改訂について

○情報交換・意見交換

- 2) 令和6年度の取組報告、今後の取組について
 - ・流域タイムラインについて
 - ・令和6年度の木津川上流部の取組について
 - ・住民防災意識調査アンケートを踏まえた今後の取組について
 - ・【意見交換】水災害リスクの自分事化に向けた伝え方の工夫
 - ・構成機関からの情報提供等



宇陀市長

宇陀市長（会長）の挨拶

- ハード対策とソフト対策の双方に取り組み、安全安心な地域づくりを進めてまいりたい。
- 昨年流域内で大規模な水害は発生していないが、近年全国的には線状降水帯などにより過去経験したことのないような豪雨がしばしば発生している状況を踏まえると、公共事業者だけでなく、企業、住民などあらゆる関係者が協力して防災減災に取り組むことが不可欠である。
- 本日の協議会で活発な議論が交わされ、各機関の防災力強化のヒントになることを期待する。



木津川上流河川事務所長

木津川上流河川事務所（事務局）事務所長の挨拶

- 出水期を目前にしている。各機関減災に向けた取組を実施していく際には、本日の意見交換を参考にしていきたい。各機関それぞれが防災に関する機能を向上させていくことが重要である。
- 住民の方が防災について意識を高めていくことが重要と考えている。事務所としても皆様と協力しながら取組を進めていきたい。
- 今年度で上野遊水地運用開始から10年を迎えるにあたり、記念の会を実施する予定。各機関の取組の紹介や、住民の防災意識啓発を実施することを考えている。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所 流域治水課
〒518-0723 三重県名張市木屋町8 1 2-1
TEL 0595-63-1611（代表）

